

# 21世紀ヒューマン・インターラクション・リサーチ・センター および各研究員の活動記録

## 1. 共同企画

### 1) 成均館大学（韓国）&東洋大学 HIRC21 共同研究会

日時：2015年5月22日-25日

テーマ：社会的逆境における感情表出と社会的排斥の日韓比較

企画：安藤 清志（東洋大学） 崔 訓碩（成均館大学校）

### 2) 日本脱カルト協会&東洋大学 HIRC21 共催 招待講演

日時：2015年8月29日（土）13:00-17:30

場所：立正大学品川キャンパス 11号館

プログラム：カルト問題の今後 自由と人権の未来は？

講演者：

元信者の抱える問題 岩野 孝之

カルト信者の家族の苦悩

信者および家族へのカウンセリングの展開と課題 平野 学

カルト予防対策と市民意識高揚の課題 山口 貴士

Ms. Catherine Picard フランスのカルト対策：発展と課題：基調講演

### 3) 成均館大学（韓国）&東洋大学 HIRC21 共同研究会

日時：2015年9月25日-28日

テーマ：社会的逆境における感情表出と社会的排斥の日韓比較

企画：安藤 清志（東洋大学） 崔 訓碩（成均館大学校）

### 4) 東洋大学 HIRC21 & 日仏政治学会共催 シンポジウム

日時：2016年2月16日（火） 16時～18時

場所：東洋大学白山キャンパス 6102教室

プログラム：『ヨーロッパのレジリエンス—歴史・現在—』

講演者：

1. Sylvain Schirmann（ストラスブール大学政治学院）

2. Jay Rowell（ストラスブール大学・フランス国立科学研究センター）

討論者：川嶋 周一（明治大学）

### 5) 東洋大学 HIRC21 主催 シンポジウム

日時：2016年2月18日（火） 14時～17時

場所：東洋大学白山キャンパス 6102教室

プログラム：『分断から統合へ—ストラスブールとフクシマ』

講演者：

1. 鈴木 規子（東洋大学社会学部）

2. Sylvain Schirmann（ストラスブール大学政治学院）

3. Jay Rowell（ストラスブール大学・フランス国立科学研究センター）

4. 安藤 清志（東洋大学社会学部）

5. 菅野 圭祐（早稲田大学理工学部）

司会・討論者：大島 尚（東洋大学社会学部）

6) 東洋大学 HIRC 主催 講演会

日時：2016年2月24日

テーマ：「近代日本の文学者が経験した逆境、および小説に描かれた逆境—韓国人の立場から—」

講演者：黄 昭淵（江原大学人文学部）

企画：安藤 清志（東洋大学）

7) 成均館大学（韓国）&東洋大学 HIRC21 共同研究会

日時：2016年3月13日-16日

テーマ：社会的逆境における感情表出と社会的排斥の日韓比較

企画：安藤 清志（東洋大学） 崔 訓碩（成均館大学校）

8) 社会行動研究会&東洋大学 HIRC21 共催 研究会

【第170回】 2015年4月25日（土）16:30～18:00

発表者：武田 美亜（青山学院女子短期大学）

タイトル：親子間の透明性錯覚：娘と父母の関係を用いた検討

【第171回】 2015年6月27日（土）16:00～17:30

発表者：八城 薫（大妻女子大学）

タイトル：大学生の余暇活動が well-being に及ぼす影響

【第172回】 2015年8月25日（火）15:00～17:30

発表者1：蔵永 瞳（就実短期大学）

タイトル：感謝されると親切になる？—感謝表出が受け手に及ぼす影響—

発表者2：田渕 恵（関西学院大学）

タイトル：「高齢者の知恵の伝授と若者の感謝—制御焦点理論を用いた実験的検討—

【第173回】 2015年10月24日（土）16:00～17:30

発表者：大久保 暢俊（東洋大学人間科学総合研究所）

タイトル：社会的比較における第三者の影響

【第174回】 2015年12月26日（土）15:00-17:30

発表者1：高 史明（神奈川大学）

タイトル：「在日コリアンへのレイシズムとインターネット」

発表者2：田戸岡 好香（東京大学）

タイトル：「専業主夫のイメージの検討：専業主婦およびキャリア男性との比較から」

【第175回】 2016年2月22日（月）15:30-18:00

発表者1：竹橋 洋毅（東京未来大学）

タイトル：「困難に挑む心の理学」

発表者2：小林 麻衣（東洋大学）

タイトル：「自我消耗するとズルしやすいのか？—自我消耗が不正行為に及ぼす影響の検討—」

## 2. 論文

大坊 郁夫 (2015). Well-being を目指す対人コミュニケーション研究 モチベーション研究, 4, 2-13.

大坊 郁夫 (2015). 共生のためのコミュニケーション力を高める～対人社会心理学の視点から～ 産業組織心理学研究, 28(2), 111-113

江利 川滋・山田 一成 (2015). Web 調査の回答形式の違いが結果に及ぼす影響——複数回答形式と個別強制選択形式の比較—— 社会心理学研究, 31, 112-119.

福岡 欣治 (2015a). 親しい友人の日常ストレス状況体験におけるソーシャル・サポート提供と気分状態の関連性 川崎医療福祉学会誌, 25(1), 175-182.

- 福岡 欣治 (2015b). 大学生の性同一性障害に関する経験と認識——医療事務職になりうる学生に注目して—— 川崎医療福祉学会誌, 25(1), 183-192.
- 福岡 欣治 (印刷中 a). 中年成人における他者依存性とソーシャル・サポート 川崎医療福祉学会誌
- 福岡 欣治 (印刷中 b). 病院での待ち時間に対する態度と、待ち時間を過ごす際の感情——医療系大学生への調査による予備的検討—— 川崎医療福祉学会誌
- 堀毛 裕子・堀毛 一也・安藤 清志・大島 尚 (2015). 社会的逆境後の精神的回復・成長につながる資源（2）——Sense of coherence (SOC)の視点から—— 東洋大学 21世紀ヒューマン・インターラクション・リサーチ・センター研究年報, 12, 3-12
- Kasagi, U., & Daibo, I. (2015). Effects of self-presentation on one's self-regulatory resources when one is faced with the multiple audience problem. *Psychology*, 6, 1443-1449.
- Kato, T. (2015a). Coping with workplace interpersonal stress among Japanese employees. *Stress and Health*, 31, 411-418. DOI: 10.1002/smj.2566. PMID: 24639236.
- Kato, T. (2015b). Testing of the coping flexibility hypothesis based on the dual-process theory: Relationships between coping flexibility and depressive symptoms. *Psychiatry Research*, 230, 137-142. DOI: 10.1016/j.psychres.2015.07.030. PMID: 26342281
- Kato, T. (2015c). Frequently used coping scales: A meta-analysis. *Stress and Health*, 31, 315-323. DOI: 10.1002/smj.2557. PMID: 24338955.
- Kato, T. (2015d). Effects of flexibility in coping with chronic headaches on depressive symptoms. *International Journal of Behavioral Medicine*, 22, 506-511. DOI: 10.1007/s12529-014-9443-1. PMID: 25231548
- Kato, T. (2015e). Impact of coping with interpersonal stress on the risk of depression in a Japanese sample: A focus on reassessing coping. *SpringerPlus*, 4:319. DOI: 10.1186/s40064-015-1111-7. PMID: 26155458
- Kato, T. (2015f). The impact of coping flexibility on the risk of depressive symptoms. *PLoS ONE* (Public Library of Science), 10(5): e0128307. DOI: 10.1371/journal.pone.0128307. PMID: 26011626
- Kato, T. (2016). Effects of flexibility in coping with menstrual pain on depressive symptoms. *Pain Practice*. Advance online publication. DOI: 10.1111/papr.12412
- 桐生 正幸 (2015). 地域防犯活動における高齢者ボランティアの意識調査 東洋大学 21世紀ヒューマン・インターラクション・リサーチ・センター研究年報, 12, 13-20.
- 桑原 裕子・高橋 幸子・松井 豊 (2016). 東日本大震災の被災自治体職員の心的外傷後ストレス反応 トライアゴニズム・ストレス, 13, 161-169.
- 久保 ゆかり (2015a). 他者の気持ちの理解——園生活での子ども同士のやりとりを通して—— 発達, 通巻第14巻, 第4号, 51-56.
- 久保 ゆかり (2015b). 情動的コンピテンス(emotional competence)の発達研究——精神的な成長を支える力—— 東洋大学 21世紀ヒューマン・インターラクション・リサーチ・センター研究年報, 12, 31-36.
- 松田 英子 (2015a). 睡眠障害への対処と認知行動療法:睡眠と覚醒の問題の治療と予防に向けて 行動科学, 54(1), 53- 62.
- 松田 英子 (2015b). 言うことを聞かない子への認知行動療法的対応——言うことを聞かない子との関係・見方を見直す 儿童心理, 第69巻, 第17号, 41-46
- 松田 英子・木村 富美子 (2015). 自傷行為を繰り返す青年期の大うつ病性障害に対する認知行動療法 カウンセリング研究, 47(4), 232-239.
- 松井 豊 (2016). 被災者を対象とした調査・研究の留意点 心理学ワールド, 72, 7-9.
- 水野 剛也 (2015a). 新聞4コマ漫画が描く菅直人首相(前編) 首相在任期間中の3大紙の4コマ漫画に関する一分析 2010~2011 東洋大学社会学部紀要, 52(2), 15~29.
- 水野 剛也 (2015b). 新聞4コマ漫画が描く菅直人首相(中編) 首相在任期間中の3大紙の4コマ漫画に関する一分析 2010~2011 東洋大学社会学部紀要, 53(1), 79~103.
- 水野 剛也 (印刷中). 新聞4コマ漫画が描く菅直人首相(後編-1) 首相在任期間中の3大紙の4コマ漫画に関する一分析 2010~2011 東洋大学社会学部紀要, 53(2)
- Mizuno, T. (2015). Caring poorer compatriots in a most trying time: Japanese Americans, their mother-language press and relief of Japan after World War II. 東洋大学 21世紀ヒューマン・インターラクション・リサーチ・センター研究年報, 12, 57-65.
- Mizuno, T. (in press). Press freedom in the enemy's language: Government control of Japanese-language newspapers in

- Japanese American Camps during World War II. *Journalism & Mass Communication Quarterly*, 93(1)
- 成田 みず穂・松田 英子 (印刷中). 青年の瘦身願望の性差, 発達的変化に関する研究——現在の体型に関する  
損得感情および社会的比較からの検討—— *科学研究*, 30, 61-68.
- 西野 理子 (2015). 性別役割分業意識の規定要因の推移 東洋大学社会学部紀要, 53(1), 139-147.
- 岡田 斎・松田 英子 (印刷中). 大ストレス学生の体験する悪夢の苦痛度尺度日本語版作成の試み イメージ心  
理学研究, 13.
- 小野 聰子・福岡 欣治 (印刷中). 心理社会的発達段階としての統合性と自我の強さとの関連——施設を利用する  
後期高齢者の中心に—— *川崎医療福祉学会誌*, 25(2).
- 榎原 圭子・桐生 正幸 (2015). 学生のキャリア形成支援の取り組み——働く先輩へのインタビュープロジェク  
トの実施とその効果—— 東洋大学社会学部紀要 53(1), 117-125.
- 瀧谷 壮紀、谷口 尚子 (2015) 有権者のイデオロギーに関する国際比較分析 東洋大学 21世紀ヒューマン・イ  
ンタラクション・リサーチ・センター研究年報, 12, 37-56.
- Suda, Y. (2015). Japan's proposition of civil society and the Japan Welfare Sociology Association. In The Japan Welfare  
Sociology Association (Ed.), A challenge of Japan's welfare society: Message to the world from the Japan Welfare  
Sociology Association. 福祉社会学研究, 12, 134-138.
- 高橋 幸子・桑原 裕子・松井 豊 (2015). 復興業務に従事する自治体職員のメンタルヘルスの推移——東日本  
大震災の1年4ヶ月後と2年4ヶ月後の比較から—— 東洋大学 21世紀ヒューマン・インタラクション・  
リサーチ・センター研究年報, 12, 67-73.
- 田中 恵子・中村 健壽・福岡 欣治 (2015a). 医事課職員における職務ストレッサーとバーンアウト傾向——患  
者接遇への注目を背景として—— 医療秘書実務論集, 5, 1-11.
- 田中 恵子・中村 健壽・福岡 欣治 (2015b). 医事課職員のバーンアウト傾向——個人属性との関連、下位尺度  
間の相関を含めて—— *Medical Secretary*, 12(2), 13-17.
- 谷口 尚子 (2015). 地方自治体への『信頼』の背景にあるもの 地方自治, 11月号, 2-11.
- 戸梶 亜紀彦 (印刷中). 若年社会人の職場におけるレジリエンスについて——雇用形態と性別による相違の検  
討—— 東洋大学社会学部紀要, 53(2), 69-88.
- Yamamoto, S. (2015). School success and failure: Changes seen in children of Chinese descent in Paris. *Journal of  
Chinese Overseas*, 11(1), 56-70.
- 山本 須美子 (2015). パリの学校における中国系新移民流入への取り組み フランス教育学会紀要, 27, 31-40.
- 山本 須美子 (2015). オランダにおける中国系第二世代の社会統合——ライフヒストリーの分析から—— 移  
民政策研究, 7, 151-166.
- 山本 陽一・俞 善英・松井 豊 (2015). 南関東居住者の東日本大震災への募金に及ぼす共感の影響 心理学研  
究, 85, 590-595.
- 俞 善英・松井 豊 (2015). 南関東居住者における東日本大震災による不安 筑波大学心理学研究, 49, 21-32.

### 3. 著書

- 大坊 郁夫(監) 石盛 真徳・谷口 淳一・金政 祐司・木村 昌紀(編)(2016). 対人社会心理学の研究レシピ 北大  
路書房
- 角山 剛 (2015). いじめ 藤田 主一・浮谷 秀一(編) 日本応用心理学会編「現代社会と応用心理学1 クロー  
ズアップ 学校」(p.135-143) 福村出版.
- 角山 剛 (2015). 産業・組織 日本心理学諸学会連合心理学検定局(編) 心理学検定基本キーワード 改訂版  
(p.261-290) 実務教育出版.
- 角山 剛 (2015). 産業・組織 日本心理学諸学会連合心理学検定局(編) 心理学検定公式問題集 2015 年度版  
(p.318-351) 実務教育出版.
- Kato, T. (2015). The dual-process theory: New approach to coping flexibility. In M. A. Basińska (ed.), *Coping flexibility  
with stress in health and in disease. Elastyczne radzenie sobie ze stresem w zdrowiu i w chorobie* (Bilingual in  
English and Polish). Bydgoszcz: Wydawnictwo UKW (Uniwersytet Kazimierza Wielkiego). Pp. 21-40.
- Kato, T. (2015). Effects of forgiveness for a partner on psychological dysfunction in dating relationship among  
freethinkers: A longitudinal study. E. L. Olsen (Ed.), *Forgiveness: Social significance, health impact and  
psychological effects*. Hauppauge, NY: NOVA Science Publishers. Pp. 61-82.
- Kato, T. (2015). Burnout as a risk factor for strain, depressive symptoms, insomnia, behavioral outcomes, suicide

attempts, and well-being among full-time workers. T. N. Winston (Ed.), *Handbook on burnout and sleep deprivation: Risk factors, management strategies and impact on performance and behavior*. Hauppauge, NY: NOVA Science Publishers. Pp. 233-252.

桐生 正幸 (2015). 日本の高齢者を取り巻く犯罪ー加害・被害・防犯 現代人のこころのゆくえ4 5-31.

松田 英子・津田 彰 (2015). 睡眠の個人差の理解と心理支援 ～眠りにまつわる問題解決のために～ 株) フィスメック

松田 英子 (2015). これからのパーソナリティ研究, 学会 日本パーソナリティ心理学会 20 年史編纂委員会 (編) 日本パーソナリティ心理学会 20 年史 (pp.143- 144) 福村出版

松田 英子 (2015). 「睡眠に関する非機能的信念と不眠に対する認知療法」「認知再構成法：睡眠に関する破滅的信念に対する認知療法」 岡島義・福田一彦(監訳) 『睡眠障害に対する認知行動療法 行動睡眠医学的アプローチへの招待』 (pp.147-162, pp.163-173) 風間書房

西田 公昭 (2015). カルトや自己啓発セミナーとその危険, 逸見敏郎・山中淑江(編著),大学生が出会うリスクとセルフマネジメント, 学苑社

浮谷 秀一・大坊 郁夫(編)(2015). クローズアップ メディア 現代社会と応用心理学 第 5 卷 福村出版

#### 4. シンポジウム

堀毛 裕子

日本心理臨床学会第 34 回秋季大会（神戸国際会議場）自主シンポジウム 大規模災害時に心理臨床家ができる こと - 東日本大震災心理支援の実践活動を通して - 指定討論 2015 年 9 月 19 日

関西学院大学戦略的基盤研究「情動概念の再構築：心理科学の新たな挑戦」キックオフシンポジウム「幸せを探る：ポジティブ感情のメカニズム解明を目指して」 人間のポジティブなちからを考える シンポジスト 2016 年 2 月 12 日

桐生 正幸

日本心理学会第 79 回大会公募シンポジウム（企画・司会・話題提供） 「妖怪心理学 第一話『混沌』」 2015 年 9 月 24 日（木）名古屋国際会議場

日本応用心理学会第 82 回大会 大会委員会企画公開シンポジウム（話題提供）「住みにくい、生きにくい社会 を well-being 社会にする～共生社会を築く応用心理学の実践～」 2015 年 9 月 5 日（土）東京未来大学

日本応用心理学会第 82 回大会 自主企画ワークショップ（企画・司会） 「応用心理学の新たなフィールドを探る—現代社会への心理・工学アプローチ」 2015 年 9 月 5 日（土）東京未来大学

日本犯罪心理学会第 53 回大会ミニ・シンポジウム（指定討論）「犯罪捜査で眞実に迫るための心理学的技術」 2015 年 9 月 26 日（土）東北大学

久保 ゆかり

感情心理学会第 23 回大会委員会主催シンポジウム：『社会性と感情の発達』にて話題提供 「幼児期の社会性と感情」 感情心理学会第 23 回大会（新渡戸文化短期大学） 6/13

須田 木綿子

“Public human services and civicness in the era of post-welfare state” Taiwanese Association for Social Welfare, Chiayi, Taiwan. Oct 16-17, 2015. (招聘)

日本移民政策学会 2015 年度冬季大会 2015 年 12 月 12 日（土） 13:00~18:30 中京大学名古屋キャンパス シンポジウム「ヨーロッパにおける移民教育政策と移民第二世代の学校適応」（企画・趣旨説明・司会を担当）

#### 5. 講演

大坊 郁夫

2015 年 9 月 16 日「親密な対人関係を築く コミュニケーション」平成 27 年度 足立区生涯学習センター・ 東京未来大学連携講座 「社会人のコミュニケーション学」①足立区生涯学習センター

2015 年 9 月 22 日「心理学はどのように人間の幸福に寄与できるのか」 指定討論大会委員会企画「心理学はどのように人間の幸福に寄与できるのか」（企画者：川口潤、金井篤子；話題提供者：筒井雄二、松本

真理子、金井篤子、五十嵐祐 指定討論者：大坊郁夫）日本心理学会第79回大会 名古屋国際会議場  
2015年9月3日(木) 2015 ロボットとの関わりかたと人間のwell-being セッションタイトル：「ロボットの社会的価値を考える」IN2-01、上出寛子、高嶋和毅、北村喜文、大坊郁夫、新井健生第33回 日本ロボット学会 学術講演会 東京電機大学

#### 角山 剛

学習意欲を育てるには～モチベーションの心理学～（墨田区教育委員会）2015.2.25（東京・墨田区）  
孤立世帯へのアプローチの仕方・接し方（足立区役所） 2015.2.1（東京・足立区）  
意欲・やる気を考える（墨田区立中和小学校） 2015.6.12（東京）  
ミドル層強化のためのモチベーション管理（公社 神奈川福祉サービス振興会） 2015.10.15（横浜市）  
コミュニケーションの心理学～職場の人間関係を円滑にするために～（株式会社日立システムズ） 2015.10.16（東京・品川区）  
モチベーション・マネジメント～わーく・モチベーションの理解と促進に向けて～（福島県臨床心理学会）  
2015.12.6（福島県立医科大学）  
モチベーションの構築と維持のために企業のなすべきこと（株式会社インターリスク総研） 2016.2.16（東京・千代田区）

#### 桐生 正幸

2015年5月28日「子どもの安全・安心確保のために—犯罪心理学の視点から」兵庫県南県民センター主催、阪神南地域安全まちづくり県民交流大会  
2015年6月19日「難クレームにおける犯罪者プロファイリングについて」ACAP 第10グループ主催（カルビー(株)本社）  
2015年10月8日「犯罪者プロファイリングを応用した地域防犯活動」山形県主催、山形県防犯指導者講習会（村山総合支庁）  
2015年10月9日「犯罪者プロファイリングを応用した地域防犯活動」山形県主催、山形県防犯指導者講習会（最上総合支庁）  
2015年10月29日、基調講演「子どもの安全—犯罪心理学から」和歌山県警察本部主催、安心・安全まちづくり県民大会  
2015年10月30日「地域での防犯対策：自分から、地域から始める防犯」神戸市主催、こうべまちづくり学校  
2015年11月10日、特別講演「犯罪者プロファイリングによる捜査支援：現場に隠された情報の構築」SAS-jmp主催、Discovery Summit Japan  
2015年11月12日「高齢者を取り巻く諸問題—犯罪心理学から見た加害・被害・防犯」東洋大学主催、学術講演会

#### 松田 英子

Eiko K\_Matsuda (2015) Cognitive behavior therapy to cope with sleep disturbance: Asian young adults have need of non-pharmacological treatment for improving sleep quality (国際学会発表・口頭・招待講演) The 7th Asian Association of Indigenous and Cultural Psychology (AAICP) Conference. Bandung, Indonesia 2015年8月  
松田 英子 (2015) 睡眠障害と認知行動療法—CBT-I および CBT-N の奏効メカニズムの検討 — 日本ストレスマネジメント学会第14回大会（講演）2015年8月

#### 松井 豊

2015年6月6日 日本社会心理学会公開シンポジウム「被災地の明日を探る社会心理学—福島からの提言」講演（福島市）  
2015年9月4日 日本家族研究・家族療法学会第32回東京大会 特別講演 「恋愛とカップル関係の実証研究」（日本女子大学・東京都）  
2015年10月31日 日本老年行動科学会第18回気仙沼大会 基調講演「被災によるストレスとそのケア」（宮城県気仙沼市）  
2015年5月 国際消防救助隊員に対するメンタルヘルスケア（江戸川区）  
2015年6月23日 台湾内政部消防署（台湾総務省消防庁）「PTSD 対策国際検討会」講演 台湾台北市

2015年7月30日 熊本市消防局「消防職員の惨事ストレス研修」講演（熊本市）  
2015年8月28日 島根県消防長会「平成27年度消防職員惨事ストレス研修会」講演（松江市）  
2015年9月10日 消防職員安全衛生研修会「消防職員の現場活動にかかるストレス対策」講演（福岡）  
2015年9月 福島県教育委員会主催 平成27年度地域における防災力向上支援事業「地域防災力向上支援プログラム」県中地区研修会（実践編）「災害時におけるストレスとストレスケアについて」講演（福島県郡山市）  
2015年9月 運輸安全委員会研修「惨事ストレス対策」講演（東京都千代田区）  
2015年9月 山梨県消防長会消防職員安全衛生及び惨事ストレス研修会「消防職員の現場活動にかかる惨事ストレス対策」講演（山梨県甲府市）  
2015年11月 武田病院 こころと身体の健康管理研修会 「東日本大震災の支援経験から—その悲しみから学ぶ—」（神奈川県川崎市）  
2015年11月 静岡県消防協会田方支部 「消防団員災害救護ストレス研修」講師（静岡県函南町）  
2015年11月 消防職員安全衛生研修会「消防職員の現場活動にかかるストレス対策」講演（神奈川県厚木市）  
2015年12月 南アルプス市消防本部「消防職員の現場活動にかかるストレス対策」講演（山梨県南アルプス市）  
2016年1月14日 公益財団法人日本消防協会第42回消防団幹部特別研修「惨事ストレス対策」講演（東京都港区）  
2016年1月21日 消防職員安全衛生研修会「消防職員の現場活動にかかるストレス対策」講演（東京都三田）

## 6. 研究交流会（研究会）

西野 理子

日本家族社会学会第6回家族社会学パネル研究会（2016年2月23日、東洋大学）「いつも夫婦は助け合って生活しているのか」

日本家族社会学会第6回家族社会学パネル研究会（2016年2月23日、東洋大学）「子どもの巣立ちを夫婦はどう迎えるのか」

山本 須美子

白山人類学研究会 第8回研究フォーラム「ヨーロッパにおける移民系第二世代の学校適応」 2015年11月7日（土）13:00～17:30 （本フォーラムは、科学研究費事業「EUにおける移民第二世代の学校適応・不適応に関する教育人類学的研究」）代表：山本須美子〔東洋大学〕との共催）

法政大学特定課題研究所「グローバル化と移民問題研究所」主催研究会 2015年11月21日（土）14:00～17:00  
研究発表「EUの中国系第二世代にみる教育とアイデンティティ形成—イギリス・フランス・オランダの比較から」

東洋大学アジア文化研究所トランスナショナリティ研究班研究会 2015年11月28日（土）14:00～18:00

研究発表「東京都江戸川区在住インド人家族にみるトランスナショナリズム—子どもの教育をめぐる選択」

## 7. 学会発表

阿部 光弘・遠入 孝・桐生 正幸 「自動車に対する悪戯傷の検討2——聞き取り調査による動機の検討——」  
日本応用心理学会第82回大会 2015年9月 東京未来大学（東京都足立区）

遠藤 真名美・松田 英子 「Big Fiveが対人ストレスコーピングに及ぼす影響——認知的評価を媒介として——」  
日本ストレスマネジメント学会第14回大会 2015年8月 江戸川大学（千葉県流山市）

江利川 滋・山田 一成 「Web調査におけるSD法と最小限化回答(2)——Straight-liningの規定因——」  
日本社会心理学会第56回大会 2015年11月 東京女子大学（東京都杉並区）

Fujiwara, K., Xinhua, M., Kimura, M., Iso, Y., & Daibo, I. "Improving group performance: Equality in utterances and the proportion of females to males." The 16th Annual Meeting of The Society for Personality and Social Psychology, Long Beach Convention Center, Long Beach, CA, USA (February, 2015).

Fujiwara, K., & Daibo, I. "Evaluating interpersonal synchrony with an automated method: Using spectrum analysis toward an unstructured conversation situation." The Nonverbal Behavior Pre-Conference at The 16th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology, The Westin Long Beach Hotel, Long Beach, CA, USA. (February, 2015).

福岡 欣治 「病院での待ち時間に対する態度と、待ち時間を過ごす際の感情——医療系大学生への調査による

- 予備的検討——」 日本健康心理学会第28回大会 2015年9月 桜美林大学（東京都町田市）
- 福岡 欣治 「病院での待ち時間に対する態度と、待ち時間を過ごす際の感情——医療系大学生と非医療系大学生の比較——」 日本心理学会第79回大会 2015年9月 名古屋国際会議場（愛知県名古屋市）
- 福岡 欣治 「小学生における運動習慣のストレス軽減効果——運動習慣に対する家族サポートの影響を含めて——」 中国四国心理学会第71回大会 2015年11月 広島修道大学（広島県広島市）
- 福岡 欣治 「乳幼児を育てる母親におけるソーシャル・サポート・ネットワークの特徴および育児不安との関連」 岡山心理学会第63回大会 2015年12月 旭川荘児童院（岡山県岡山市）
- グエン ヴァンティン・桐生 正幸 「在日ベトナム人留学生による万引き行動と規範意識について」 日本応用心理学会第82回大会 2015年9月 東京未来大学（東京都足立区）
- Horike, K., & Horike, H. "A positive psychological intervention for promoting sustainable behavior." Fourth World Congress on Positive Psychology, Coronado Springs Resort, Orlando, FL, USA (June, 2015).
- 堀毛 裕子・堀毛 一也 「社会的逆境からの精神的回復・成長資源に関する研究——(3)sense of coherence(SOC)および関連する個人的資源——」 日本パーソナリティ心理学会第24回大会 2015年8月 北海道教育大学（北海道札幌市）
- 堀毛 裕子・佐藤 美華・松浦 裕美・佐藤 春奈・君島 伊造 「乳がん患者に対するポジティブ心理学的介入の試み（第3報）——介入の効果に関する量的検討——」 日本健康心理学会第28回大会 2015年9月 桜美林大学（東京都町田市）
- 堀毛 一也・安藤 清志・大島 尚・高橋 幸子 「社会的逆境からの個人的・社会的回復資源（1）家庭内不和と介護・看護体験からの回復資源の比較」 日本社会心理学会第56回大会 2015年10月 東京女子大学（東京都杉並区）
- 池間 愛梨・入山 茂・桐生 正幸・太田 裕彦 「大阪府で発生した子どもに対する声掛け事案に関する土地利用情報」 日本心理学会第79回大会 2015年9月 名古屋国際会議場（愛知県名古屋市）
- 池間 愛梨・入山 茂・桐生 正幸 「大阪府で発生した子どもに対する声掛け事案の分析と誘発要因の検討」 日本犯罪心理学会第53回大会 2015年9月 東北大学（宮城県仙台市）
- 入山 茂・池間 愛梨・桐生 正幸 「絞殺と自絞殺の司法検視における頸部と索状物への着眼の特徴」 日本心理学会第79回大会 2015年9月 名古屋国際会議場（愛知県名古屋市）
- 入山 茂・池間 愛梨・桐生 正幸 「絞殺の司法検視における検視官の遺体情報の評価特徴——アーカイブ分析を用いた事例研究——」 日本犯罪心理学会第53回大会 2015年9月 東北大学（宮城県仙台市）
- Kawahara, K., & Suda, Y. "Why are there so few homeless females in Japan?" 社会政策学会第130回大会国際分科会 : Rediscovering social protection and security beyond crisis. 2015年6月 お茶の水女子大学（東京都文京区）
- 木村 真利子・渡辺 和弥・上瀬 由美子・西田 公昭 「マインド・コントロール脆弱性測定の試み（2）：下位尺度間関係の検討」 日本社会心理学会第56回大会 2015年10月 東京女子大学（東京都杉並区）
- 桐生 正幸 「自動車に対する器物損壊での犯行動機」 日本心理学会第79回大会 2015年9月 名古屋国際会議場（愛知県名古屋市）
- 桐生 正幸 「悪質クレーマーの検討2」 日本犯罪心理学会第53回大会 2015年9月 東北大学（宮城県仙台市）
- 久保 ゆかり 「園生活における怒りの表出について幼児はいかに語るか——年中時点から年長時点にかけての変化——」 日本教育心理学会第57回総会 2015年8月 朱鷺メッセ（新潟県新潟市）
- 松田 英子 「認知行動療法の悪夢症状低減効果に関する事例研究——単一事例実験——」 日本ストレスマネジメント学会第14回大会 2015年8月 江戸川大学（千葉県流山市）
- 松田 英子・岡田 斎 「タイプAパーソナリティと悪夢症状の関連の検討——悪夢の頻度、悪夢の苦痛度、および自殺企図からの分析——」 日本パーソナリティ心理学会第24回大会 2015年8月 北海道教育大学（北海道札幌市）
- Matsuda, E., Liu, J., Suzuki, H., & Kawase, Y. "Effects of psychological stress and acculturation attitudes on sleep disturbance in Chinese students in Japan." The 1st Conference of Asian Society of Sleep Medicine, Taipei International Convention Center, Taipei, Taiwan (March, 2016).
- 松井 豊 「東日本大震災における災害救援者の支援から」 in シンポジウム「アイデンティティ」の魅力を再考する（その2） 日本発達心理学会第26回大会 2015年3月 東京大学（東京都文京区）
- Minato, M., Horike, H., & Horike, K. "Testing the effect of improving explanatory style on depressive symptoms." Fourth World Congress on Positive Psychology, Coronado Springs Resort, Orlando, FL, USA (June, 2015).

水田 恵三・安藤 清志・堀毛 一也・渡辺 浪二・飛田 操・堀毛 裕子・佐藤 史緒・結城 裕也 「原発事故避難者の現状とウェルビーイング（2）」 日本心理学会第79回大会 2015年9月 名古屋国際会議場（愛知県名古屋市）

Nishida, K. "Reexamination of the terrorist behaviors of Aum Supreme Truth and their today." 2015 International Cultic Association Annual Conference, Ariadne Scandic Hotel, Stockholm, Sweden (June, 2015)

西田 公昭 「詐欺・悪質商法被害者の心理（1）：被害後の心理についての検討」 日本社会心理学会第56回大会 2015年10月 東京女子大学（東京都杉並区）

小田 喜理江・大島 尚 「情報端末の不具合におけるフィードバックの違いが及ぼす影響」 日本社会心理学会第56回大会 2015年11月 東京女子大学（東京都杉並区）

小野 聰子・福岡 欣治 「心理社会的発達段階としての統合性と自我の強さとの関連——施設を利用する後期高齢者を中心に——」 岡山心理学会第63回大会 2015年12月 旭川荘児童院（岡山県岡山市）

尾崎 由佳 「日常生活における接近的／回避の欲望：経験頻度と規定因の検討」 日本社会心理学会第56回大会 2015年10月 東京女子大学（東京都杉並区）

Ozaki, Y., Goto, T., Kuraya, T., Kaneko, M., Minato, M., & Kutsuzawa, G. "Want-to desires and have-to desires in everyday life: Investigating frequency, intensity, and consequences." The 17th Annual Convention of Society for Personality and Social Psychology, San Diego Convention Center, San Diego, CA, USA (Jan 2016).

佐藤 浩平・松田 英子 「大学生のアパシー傾向に及ぼす諸要因の検討——アイデンティティ確立度とストレスを指標として——」 日本ストレスマネジメント学会第14回大会 2015年8月 江戸川大学（千葉県流山市）

佐藤 史緒・安藤 清志・堀毛 一也・渡辺 浪二・飛田 操・水田 恵三・堀毛 裕子・結城 裕也 「原発事故避難者の現状とウェルビーイング（1）」 日本心理学会第79回大会 日本心理学会第79回大会 2015年9月 名古屋国際会議場（愛知県名古屋市）

佐藤 史緒・安藤 清志・堀毛 一也・渡辺 浪二・飛田 操・水田 恵三・堀毛 裕子・結城 裕也 「原発事故避難者の現状とウェルビーイング（3）」 日本社会心理学会第56回大会 2015年10月 東京女子大学（東京都杉並区）

瀧谷 壮紀・谷口 尚子・クリス ウィンクラー 「政党マニフェスト・コーディング・データを用いた有権者のイデオロギーに関する国際比較・時系列比較」 日本選挙学会2015年度総会・研究会 2015年5月 熊本市民会館崇城大学ホール（熊本県熊本市）

瀧谷 壮紀・谷口 尚子・クリス ウィンクラー 「有権者の政策選好の推定：政党公約データを用いた分析」 公共選択学会第19回大会 2015年11月 明海大学（千葉県浦安市）

高橋 幸子・安藤 清志・大島 尚・堀毛 一也 「社会的逆境からの回復に関する基礎調査（3）社会的逆境の分類」 日本社会心理学会第56回大会 2015年10月 東京女子大学（東京都杉並区）

田中 恵子・中村 健壽・福岡 欣治 「医事課職員における組織風土、情緒的サポートとバーンアウト、患者・家族対応との関連」 日本医療秘書実務学会第6回大会 2015年8月 愛知学院大学（愛知県名古屋市）

谷口 尚子・クリス ウィンクラー 「世界の中の日本の政党——政党公約コーディングによる国際比較」 日本選挙学会2015年度総会・研究会 2015年5月 熊本市民会館崇城大学ホール（熊本県熊本市）

谷口 尚子・クリス ウィンクラー 「政党公約の国際比較——日本の政党公約の相対化と方法論的課題」 日本政治学会2015年度総会・研究大会 2015年10月 千葉大学（千葉県千葉市）

戸梶 亜紀彦 「社会人におけるレジリエンスについて」 日本感情心理学会第23回大会 2015年6月 新渡戸文化短期大学（東京都中野区）

戸梶 亜紀彦 「職場体験に対するレジリエンス——属性による相違の検討——」 日本グループ・ダイナミック学会第61回大会 2015年10月 奈良大学（奈良県奈良市）

遠入 孝・阿部 光弘・桐生 正幸 「自動車に対する悪戯傷の検討1——実験による加害行動の分析」 日本応用心理学会第82回大会 2015年9月 東京未来大学（東京都足立区）

許 倩・松田 英子 「在日中国人留学生の異文化適応支援の現状と問題——異文化ストレス、留学生のパーソナリティからの分析——」 日本ストレスマネジメント学会第14回大会 2015年8月 江戸川大学（千葉県流山市）

渡辺 和弥・木村 真利子・上瀬 由美子・西田 公昭 「マインド・コントロール脆弱性測定の試み（1）：理論的枠組みおよび権威主義的パーソナリティとの関係」 日本社会心理学会第56回大会 2015年10月 東京女子大学（東京都杉並区）

山田 一成・江利川 滋 「Web 調査における SD 法と最小限化回答 (1)——Straight-lining と回答時間の関係——  
日本社会心理学会第 56 回大会 2015 年 11 月 東京女子大学（東京都杉並区）

## 8. その他

大坊 郁夫 (2015). 対人関係・コミュニケーションを学ぶ—リアルタイムの対人社会心理学— "心理学を学ぼう!2 ～心理学の現在～, 14-17. (心理学書販売研究会)"

角山 剛

特定非営利活動法人キャリアカウンセリング協会 シニアカウンセラー研修「組織・人的資源管理基礎講座」

2015.2.28、2015.6.14、

22015.6.16

学習意欲の向上～モチベーション視点から～（墨田区教育委員会・すみだ学力向上推進会議）

マネジメント・マインドの形成（川越市小学校・中学校 10 年経験者研修）

2014.7.28

平成 27 年度教員免許 10 年更新講習（東京未来大学） 2015.8.7

※プロジェクトに参加するメンバーは以下の通りである。

### 〔研究員〕

安藤 清志（東洋大学社会学部教授）〔統括責任者〕  
大島 尚（東洋大学社会学部教授）  
堀毛一也（東洋大学社会学部教授）  
久保 ゆかり（東洋大学社会学部教授）  
戸梶 亜紀彦（東洋大学社会学部教授）  
西野 理子（東洋大学社会学部教授）  
山本 須美子（東洋大学社会学部教授）  
須田 木綿子（東洋大学社会学部教授）  
桐生 正幸（東洋大学社会学部教授）  
山田 一成（東洋大学社会学部教授）  
水野 剛也（東洋大学社会学部教授）  
松田 英子（東洋大学社会学部教授）  
加藤 司（東洋大学社会学部准教授）  
尾崎 由佳（東洋大学社会学部准教授）  
鈴木 則子（東洋大学社会学部准教授）

### 〔客員研究員〕

小澤 康司（立正大学教授）  
西田 公昭（立正大学教授）  
松井 豊（筑波大学教授）  
大坊 郁夫（東京未来大学教授）  
角山 剛（東京未来大学教授）  
堀毛 裕子（東北学院大学教授）  
福岡 欣治（川崎医療福祉大学准教授）  
谷口 尚子（東京工業大学准教授）

### 〔研究支援者〕

高橋 幸子（東洋大学）

### 〔リサーチ・アシスタント〕

陸英善（東洋大学大学院社会学研究科）  
倉矢 匠（東洋大学大学院社会学研究科）  
金子 迪大（東洋大学大学院社会学研究科）